

2024年度 日本赤十字九州国際看護大学



第22回 国際シンポジウム/第13回 国際フォーラム

～地域における災害への備え～

2024年6月28日(金) 9:30～12:50

日本赤十字九州国際看護大学 オーヴァルホール
学外者にはウェビナーでライブ配信します

第1部

9:30～9:40 開会挨拶

9:40～10:30 第22回 国際シンポジウム

大学生の力によるまちの課題解決プロジェクト 「それゆけ！！日赤生 in 地島」

日本赤十字九州国際看護大学 学生発表、ディスカッション

大学生の力によるまちの課題解決プロジェクトとして、「地島の皆さんと一緒に防災・減災教室！広がり地域の防災・減災の輪」をテーマに、宗像市の地島で防災・減災教室を行っています。地島は離島である地理的特徴から、災害発生時の自主的な避難行動が課題として挙げられおり、それに対する私たちの3年間の取り組みについて発表します



(10:30～10:40 休憩)



UNIVERSITY of HAWAII at MĀNOA
NANCY ATMOSPHERA-WALCH
SCHOOL of NURSING

第2部

10:40～12:00 第13回 国際フォーラム

「ハワイにおける災害看護と減災教育」

Gary Glauberman 先生(ハワイ大学マノア校 看護学部 准教授)

モデレーター・通訳 岡田 悠偉人先生(ハワイ大学がんセンター 疫学専門家)



Gary Glauberman 先生

ハワイ州は島嶼群で災害時対応にて資源が限られる環境であり、市民に対する減災教育が重要になります。看護師は通常医療の中で、災害弱者に対して減災教育を行う必要があります。昨年のラハイナ火災の事例を用いながら、ハワイにおける災害看護と減災教育について説明していただきます。



岡田 悠偉人先生

Welcome ランチ

12:10～12:50 場所:レストランアスティ